

補助金評価シート

区分	重点 重点以外	補助根拠	法令補助 ・その他補助	開始時期	平成27年4月1日	終期	平成30年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	地域包括ケア推進モデルハウス事業補助金 地域住民同士の支え合いのしくみづくりを進めるために、地域包括ケア推進の拠点としてのモデルハウスを設置し、地域の茶の間の運営や生活支援、介護予防活動などを実施するとともに、その活動ノウハウの普及を図る。						
款・項・目	地域支援事業費 一般介護予防事業費 一般介護予防事業費						
所属等	福祉部 地域包括ケア推進課 電話025-226-1281						

年 度		27年度（1年目）		28年度（2年目）		29年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	5,300		6,900		9,164	国等 8,019
	決算(千円)	2,006		4,370		9,164	国等 8,019
補助率		100%		100%		100%	
目 標		地域の茶の間設置数 486箇所 <目標が数値でない場合の評価方法> ※27～28年度は、「地域住民同士の支え合いのしくみづくりを進める。」ことを非数値目標として設定した。					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上					104.5%	508箇所（見込）
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	市内各区への地域包括ケア推進モデルハウスの設置に取り組んだが、設置には至らなかった。まずは、設置に向けて、取り組んでいく。	市内各区への地域包括ケア推進モデルハウスの設置に取り組み、7区で設置。今後、それぞれのモデルハウスを拠点に地域住民同士の支え合いのしくみづくりを進めていく。	地域包括ケア推進モデルハウスを全区9か所設置。モデルハウスを拠点として、住民主体の支え合いのしくみづくりが広がりつつある。			
補助事業者による情報の公表	チラシ、市ホームページ等						

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか（繰越金が生じていないか）	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 実施団体は住民主体で本事業は非営利目的であり、財政基盤が脆弱であることから、当該補助率を設定した。今後も、住民主体の取組みを推進するための補助のあり方について、検討していく。				
	<g～hにおける取組>				
目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充 改善 （補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 地域包括ケア推進モデルハウスは地域の茶の間の運営ノウハウを学ぶ場や人材育成の場としての機能を発揮しつつある。今後は、その拠点性を高め、市内全域で支え合いのしくみづくりを具現化していく取組を進めていく。					